



### 《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 婦人相談事業	婦人相談員が要保護女性のDV等の相談や支援を行う。	婦人相談支援日数	日	241	245	244	247
② 母子自立支援事業	母子自立支援員が自立支援のため相談、指導を行う。	母子自立支援日数	日	10	0	0	10
③							
④							
⑤							

### 《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H23目標 H23実績	H24目標 H24実績	H25目標 H25実績	H26目標
1	婦人相談事業相談回数・人数	婦人相談員が相談に対応した延べ回数(～H24) 婦人相談員が相談に応じた延べ人数(H25～)	回・人	450 481	450 438	24 24	36
2	母子自立支援プログラム作成件数	母子自立支援のためのプログラムを作成した件数	件	2 2	2 0	2 0	2

### 《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	要保護女子の身近な相談場所として設置しており、公の機関として重要な位置づけになっている。事業を止めた場合、要保護女子や母子家庭の安心・安全の確保に不安が生じる。
	目的の妥当性【21】	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	来所相談、電話相談、関係機関を経由しての相談などにより、相談者の状況を把握しながら支援を実施している。関係機関と連携して、気軽に相談できる体制を整備する。
	成果向上の余地【24】	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

### 《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	相談者の専門的な相談に対応するためには、研修等により相談員の研鑽が必要である。また、今後は有資格者の採用や勤務時間の見直し等も検討していく必要がある。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

### ■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	女性に関わる事件事故の予防には、婦人相談の充実につながっている。継続事業として必要と考える。	評価責任者 中野 幸子
------------------	--	----------------